

ワールド・ウォーター・ファンド Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第22期（決算日2026年4月10日）

作成対象期間（2025年4月11日～2026年4月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2004年3月26日から2029年4月10日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 実質的な株式の投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行なうことを基本とします。 銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	
主な投資対象	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
18期(2022年4月11日)	26,189	1,200	5.4	36,055.84	7.3	98.6	—	3,409
19期(2023年4月10日)	22,680	900	△10.0	32,911.60	△ 8.7	99.1	—	2,628
20期(2024年4月10日)	24,937	1,000	14.4	39,155.21	19.0	98.5	—	2,241
21期(2025年4月10日)	21,265	800	△11.5	38,475.62	△ 1.7	93.9	—	1,509
22期(2026年4月10日)	22,125	900	8.3	48,177.07	25.2	97.2	—	1,381

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 参考指数(=MSCI ワールド インデックス (税引後配当込み、円ヘッジベース))は、MSCI World Indexをもとに、委託会社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。設定時を10,000として指数化しております。

* MSCI World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所：MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2025年4月10日	円	%		%	%	%
	21,265	—	38,475.62	—	93.9	—
4月末	22,224	4.5	39,910.86	3.7	96.7	—
5月末	23,102	8.6	42,251.83	9.8	97.1	—
6月末	23,442	10.2	43,603.27	13.3	97.7	—
7月末	23,466	10.4	44,719.88	16.2	98.6	—
8月末	24,047	13.1	45,577.28	18.5	97.8	—
9月末	23,266	9.4	46,527.37	20.9	97.9	—
10月末	23,295	9.5	47,708.74	24.0	99.4	—
11月末	23,516	10.6	47,574.89	23.6	97.9	—
12月末	23,165	8.9	48,191.90	25.3	98.4	—
2026年1月末	23,816	12.0	48,785.34	26.8	93.8	—
2月末	24,318	14.4	49,127.81	27.7	97.9	—
3月末	21,523	1.2	44,997.38	17.0	98.3	—
(期末) 2026年4月10日	23,025	8.3	48,177.07	25.2	97.2	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込み	騰落率	期騰落	中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
18期(2022年4月11日)	33,493	1,500	17.5	49,068.97	19.2	97.8	—	11,100
19期(2023年4月10日)	31,441	1,300	△2.2	49,212.93	0.3	98.3	—	10,089
20期(2024年4月10日)	41,452	1,800	37.6	69,966.32	42.2	98.3	—	12,111
21期(2025年4月10日)	35,582	1,600	△10.3	70,010.28	0.1	95.4	—	9,813
22期(2026年4月10日)	41,682	1,800	22.2	98,910.51	41.3	97.1	—	10,993

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 参考指数(=MSCI ワールド インデックス(税引後配当込み、円換算ベース))は、MSCI World Indexをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。設定時を10,000として指数化しております。

* MSCI World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所：MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2025年4月10日	円	%		%	%	%
	35,582	—	70,010.28	—	95.4	—
4月末	36,511	2.6	71,360.96	1.9	96.4	—
5月末	38,396	7.9	76,395.62	9.1	97.6	—
6月末	39,494	11.0	79,923.17	14.2	97.8	—
7月末	40,703	14.4	84,276.42	20.4	97.9	—
8月末	41,281	16.0	85,044.76	21.5	98.6	—
9月末	40,561	14.0	88,134.96	25.9	98.6	—
10月末	42,012	18.1	93,313.01	33.3	97.8	—
11月末	43,192	21.4	94,748.94	35.3	97.1	—
12月末	42,789	20.3	96,595.44	38.0	98.0	—
2026年1月末	43,468	22.2	96,712.30	38.1	96.2	—
2月末	44,941	26.3	98,648.33	40.9	97.9	—
3月末	40,610	14.1	92,330.81	31.9	98.3	—
(期末) 2026年4月10日	43,482	22.2	98,910.51	41.3	97.1	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

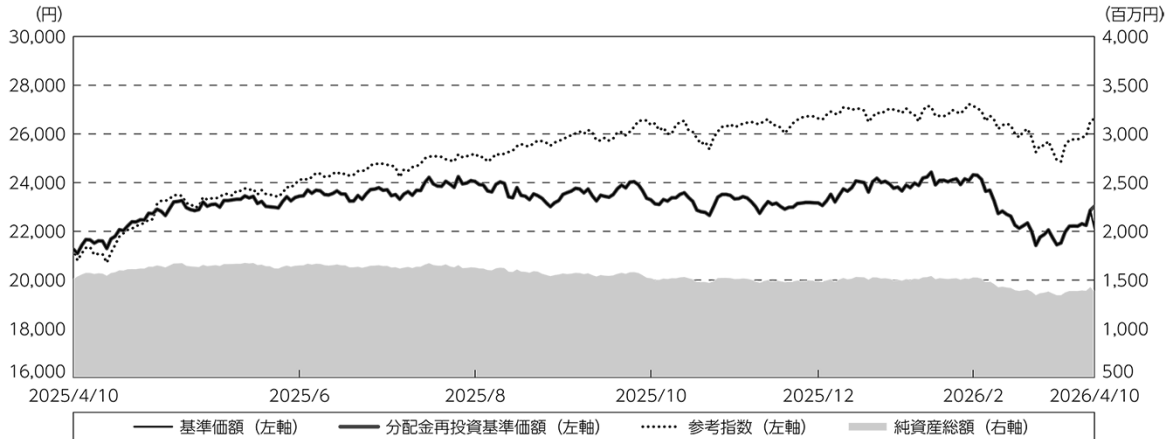
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：21,265円

期末：22,125円 (既払分配金(税込み)：900円)

騰落率： 8.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成年首(2025年4月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス(税引後配当込み、円ヘッジベース)です。参考指数は、作成年首(2025年4月10日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

(上昇)

保有する水関連企業の株式の上昇

(下落)

為替ヘッジ取引によるコスト

<Aコース>

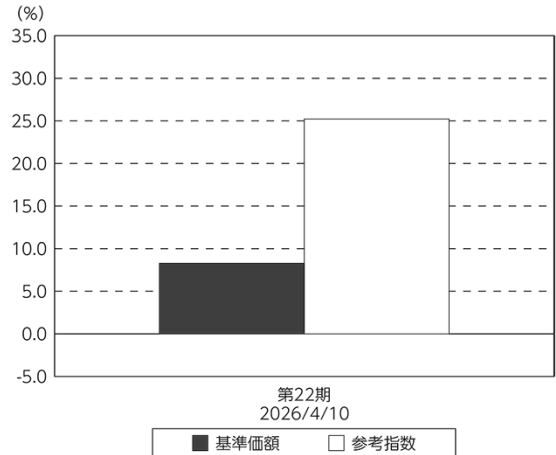
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）の25.2%の上昇に対し、基準価額は8.3%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）とは異なった動きをしております。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）です。

◎分配金

収益分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、次表の通りとさせていただきます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第22期
	2025年4月11日～ 2026年4月10日
当期分配金	900
(対基準価額比率)	3.909%
当期の収益	253
当期の収益以外	646
翌期繰越分配対象額	12,125

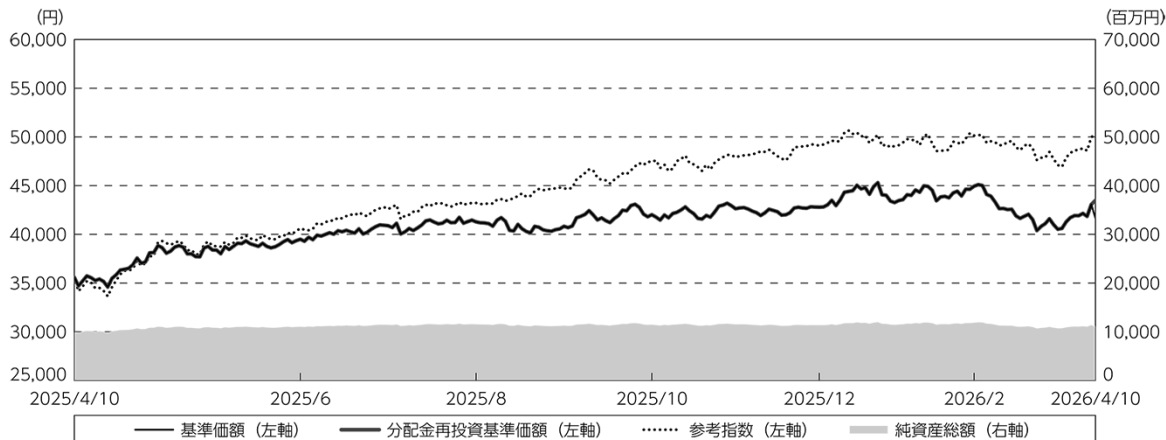
(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：35,582円

期 末：41,682円 (既払分配金(税込み)：1,800円)

騰落率： 22.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2025年4月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス(税引後配当込み、円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2025年4月10日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

(上昇)

保有する水関連企業の株式の上昇
米ドルに対して円安が進んだこと

<Bコース>

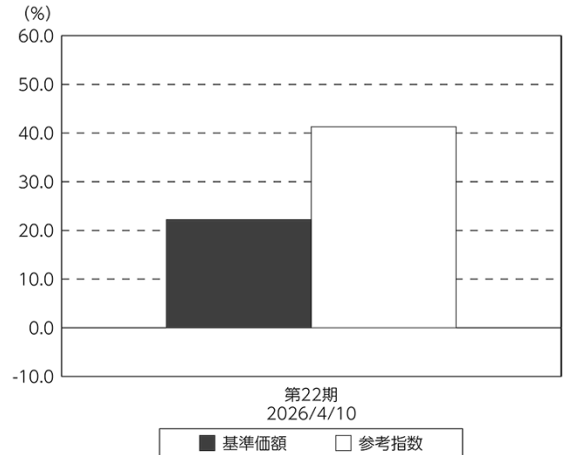
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）の41.3%の上昇に対し、基準価額は22.2%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）とは異なった動きをしています。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。

◎分配金

収益分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、次表の通りとさせていただきます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第22期
	2025年4月11日～ 2026年4月10日
当期分配金	1,800
(対基準価額比率)	4.140%
当期の収益	1,800
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	31,682

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の世界株式市場は、各国の金融・財政政策の行方やインフレ、労働市場、トランプ米大統領の関税政策、中東情勢の悪化などの影響を受ける展開となりましたが、期を通じては上昇となりました。

為替市場は、米ドル円、ユーロ円ともに上昇（円安）しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

期を通じて、マザーファンドを高位に組み入れました。

また、当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

期を通じて、マザーファンドを高位に組み入れました。

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行なうことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリユエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ① 「装置製造・エンジニアリングセクター」と「上下水道ビジネスセクター」を中心に投資しました。
 - ② 装置製造・エンジニアリングセクターについては、中期的な売上成長や利益率の改善が期待される銘柄などに投資を行ないました。
 - ③ 上下水道ビジネスセクターについては、金利環境の改善で株価の上昇余地があると考えられる銘柄などに投資を行ないました。
 - ④ 環境マネジメント・サービスセクターについては、利益率の改善とキャッシュ・フローの拡大が期待される銘柄などに投資を行ないました。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

イスラエルと米国がイランに対する軍事攻撃を開始して以降、原油などのエネルギー価格が高騰する中、インフレ再燃に対する警戒感が高まっており、中東情勢を巡る今後の動向には引き続き注視が必要と考えます。世界の多くの地域で、消費者による裁量的な支出の抑制傾向がみられる一方で、中国の製造業PMI（購買担当者景気指数）は依然として低調なものの、米国や欧州では2023年の低い水準から徐々に改善が見られます。住宅建設活動は、足元では高金利を背景に抑えられたものとなっていますが、長期的には供給不足を反映して米国および欧州において需要が回復していくと考えています。

水関連の企業については、米国の財政プログラムに基づく受注が増加し始めており、これが米国に拠点を置く地方自治体のインフラ関連企業や、多角経営産業、コンサルティング企業の収益を支えると予想しています。また、廃棄物処理と上下水道関連の企業は、引き続きインフレ連動型の価格設定が高い利益率を支えると見込んでいます。装置製造・エンジニアリングの企業については、短期的には調達コストの増加や顧客の設備投資計画の見直しなどを通じて、各国の通商政策の影響が相対的に大きくなることを見込まれるため、引き続き動向を注視していきます。

水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行なう水関連銘柄のファンダメンタルズは堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

こうした環境の中、長期的な構造変化の恩恵をうける銘柄の選択に重点をおいた運用を継続します。足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは個別銘柄のミスプライス（誤った値付け）をもたらし、魅力的な投資機会を与えるものと考えます。引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用（景気回復に伴って業績の回復が期待されるセクターと景気に左右されにくく、安定した業績を維持するセクターの保有）を行なっていきます。

<Aコース/Bコース>

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

マザーファンド受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジを行わない方針です。

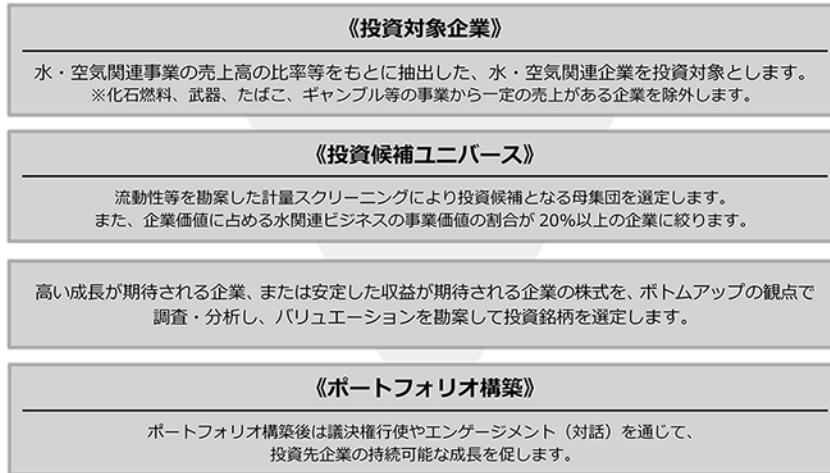
<Aコース/Bコース>

◎（ご参考）マザーファンドのESG運用について

○運用プロセス図

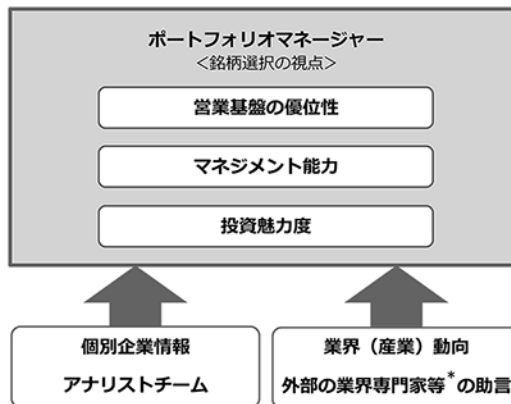
当ファンドは下記のプロセスに基づいて運用されています。

■投資プロセス■



*企業の調査・分析・ポートフォリオ構築にあたっては、ESGの視点でも投資銘柄の評価・分析を行ないます。

■ボトムアップによる銘柄選択■



*水・空気関連ビジネスの大局的見地から助言を行なうものであり、個別の銘柄選択に対して助言を行なうものではありません。
※前記の投資プロセス、ボトムアップによる銘柄選択は、今後見直しを行なう場合があります。

<Aコース/Bコース>

○主要組入銘柄の解説とESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

組み入れ銘柄の紹介・解説になります。

☆サンパウロ州基礎衛生公社（ブラジル）

①事業内容

サンパウロ州基礎衛生公社（CIA SANEAMENTO BASICO DE-AD）は浄化処理と配水事業の会社です。配水インフラ施設と浄化システムの設計・建設にも従事しており、ブラジルのサンパウロ州で事業を展開しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

2029年までに州内の農村や貧困地区へ上下水道サービスを普及させるため、サンパウロ州政府は2024年7月に同社の民営化を完了しました。今後は、日々の暮らしや産業活動に不可欠な上下水道インフラの整備・更新がより一層進むことが期待されています。日々の暮らしや産業活動に不可欠な上下水道サービスを提供する同社の収益は、州内のサービスエリア拡大などに伴って、長期的かつ安定的に成長すると考えています。

☆ファーガソン・エンタープライゼズ（米国）

①事業内容

ファーガソン・エンタープライゼズ（FERGUSON ENTERPRISES INC）は持株会社です。子会社を通じて、空調機器、配管、インフラなどの各製品を提供しています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

スマートでエネルギー効率の高い給水や空調などにより、エネルギーや水の消費量を削減し、安全で健康的な環境を実現する配管や暖房製品などを提供しています。エネルギー資源の安定的な維持・確保の問題のほか、地球温暖化などを背景にした干ばつによる水不足や経済発展に伴う水質の劣化などが問題となる場面が多くなっています。このような課題を解決する同社の技術に対しては、今後長期的に大きな需要があると考えています。

☆パーカー・ハネフィン（米国）

①事業内容

パーカー・ハネフィン（PARKER HANNIFIN CORP）は動力制御機器メーカーです。航空宇宙、工業をはじめとした幅広い業界向けのシステムや部品の設計、製造などを行なっています。

②ESGへの取り組みが企業価値向上に資する理由

同社の幅広い製品ポートフォリオには、油圧システム、空気圧システム、水や空気のろ過システム、流体およびガス処理技術などが含まれます。同社は、イノベーション、効率性、持続可能性などに重点を置いており、顧客の生産性向上と地球環境への負荷の削減を支援しています。

<Aコース/Bコース>

○当ファンドにおけるサステナブル投資

①水・空気関連企業への投資比率

当ファンドでは清潔で安全かつ持続可能な水の供給や大気汚染の抑制に貢献すると考えられる水関連企業や空気関連企業に投資を行いません。2025年12月末時点のポートフォリオにおける同銘柄への投資比率は純資産総額の98.53%でした。

(出所) ピクテ

②ポートフォリオ全体に占めるテーマ事業割合

2025年12月末時点で、ポートフォリオ全体の企業価値に占める水・空気関連の事業価値割合は、70.88%でした。

(出所) ピクテ

③特定銘柄の除外

2025年12月末時点、ポートフォリオでは国際的な規範から大きく外れる銘柄や、兵器に関連する銘柄へは投資していません。

(出所) ピクテ

○スチュワードシップ活動

ファンドでは、エンゲージメントと議決権行使を通じて、投資先企業の企業価値向上に資する、長期的な株式利益を尊重した経営を行なうよう求めます。

野村アセットマネジメントが議決権行使を担当し、ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社がエンゲージメントを担当します。

ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ・ジャパン株式会社のエンゲージメント活動の詳細は、以下のサイト（「野村アセットマネジメントの主なESGファンド」）内、「外部委託ファンドのスチュワードシップ方針/スチュワードシップ活動」にある「ワールド・ウォーター・ファンド」の「スチュワードシップの活動はこちら」より、ピクテ・ジャパン株式会社のサイトにアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/esg-integration/esglineup.html#esglineup4>

野村アセットマネジメントの議決権行使の詳細は、以下のサイト「野村アセットマネジメントの責任投資」にアクセスいただくと、ご覧いただけます。

<https://www.nomura-am.co.jp/special/esg/>

<Aコース>

○ 1万口当たりの費用明細

(2025年4月11日~2026年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 435	% 1.870	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(230)	(0.990)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(179)	(0.770)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(26)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	11	0.045	(b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(11)	(0.045)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	7	0.030	(c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(7)	(0.030)	
(d) そ の 他 費 用	22	0.096	(d) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(19)	(0.084)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(2)	(0.008)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	475	2.041	
期中の平均基準価額は、23,265円です。			

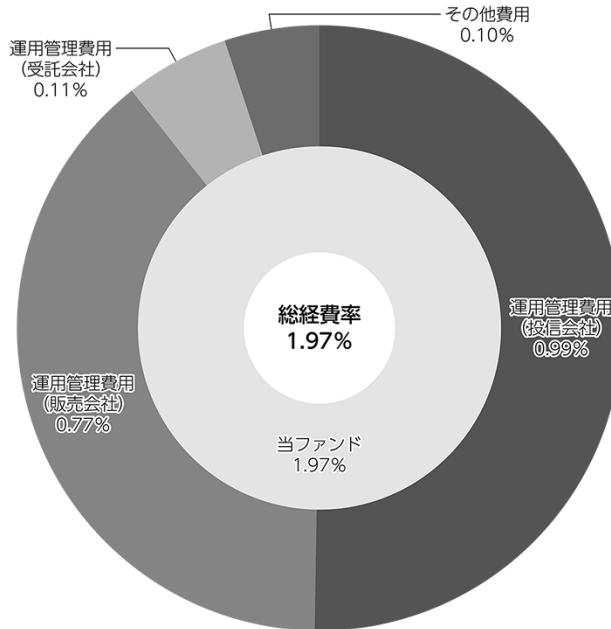
- * 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2025年4月11日～2026年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 23,297	千円 266,400	千口 58,158	千円 710,700

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2025年4月11日～2026年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	16,436,643千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	12,487,331千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.31	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年4月11日～2026年4月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Aコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 7,546	百万円 2	% 0.0	百万円 8,890	百万円 18	% 0.2

平均保有割合 12.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<Aコース>

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	704千円
うち利害関係人への支払額 (B)	0.529千円
(B) / (A)	0.1%

* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

○組入資産の明細

(2026年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 139,547	千口 104,686	千円 1,369,836

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2026年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千円 1,369,836	% 94.2
コール・ローン等、その他	84,900	5.8
投資信託財産総額	1,454,736	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(12,334,545千円)の投資信託財産総額(12,908,725千円)に対する比率は95.6%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=159.30円、1カナダドル=115.23円、1英ポンド=213.84円、1スイスフラン=201.26円、1デンマーククローネ=24.91円、1ユーロ=186.16円、1豪ドル=112.72円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,712,650,248
コール・ローン等	13,976,177
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	1,369,836,631
未収入金	1,328,837,157
未収利息	283
(B) 負債	1,331,162,421
未払金	1,261,045,087
未払収益分配金	56,195,922
未払信託報酬	13,896,950
その他未払費用	24,462
(C) 純資産総額(A-B)	1,381,487,827
元本	624,399,139
次期繰越損益金	757,088,688
(D) 受益権総口数	624,399,139口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,125円

(注) 期首元本額は709,835,893円、期中追加設定元本額は23,409,841円、期中一部解約元本額は108,846,595円、1口当たり純資産額は2.2125円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額89,054,305円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2025年4月11日～2026年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	132,003
受取利息	132,003
(B) 有価証券売買損益	138,437,935
売買益	443,171,720
売買損	△304,733,785
(C) 信託報酬等	△ 29,815,943
(D) 当期損益金(A+B+C)	108,753,995
(E) 前期繰越損益金	△ 52,765,094
(F) 追加信託差損益金	757,295,709
(配当等相当額)	(590,659,818)
(売買損益相当額)	(166,635,891)
(G) 計(D+E+F)	813,284,610
(H) 収益分配金	△ 56,195,922
次期繰越損益金(G+H)	757,088,688
追加信託差損益金	757,295,709
(配当等相当額)	(590,717,192)
(売買損益相当額)	(166,578,517)
分配準備積立金	80,969,728
繰越損益金	△ 81,176,749

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2025年4月11日～2026年4月10日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2025年4月11日～ 2026年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	15,802,585円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	676,118,960円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	121,363,065円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	813,284,610円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	13,025円
g. 分配金	56,195,922円
h. 分配金(1万口当たり)	900円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	900円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が2026年4月1日で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更されたことに伴い、投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に改める所要の約款変更を行ないました。

<変更適用日：2026年4月1日>

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年4月11日～2026年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	770	1.870	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(408)	(0.990)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(317)	(0.770)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(45)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	19	0.046	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(19)	(0.046)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	13	0.031	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(13)	(0.031)	
(d) そ の 他 費 用	22	0.054	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(18)	(0.043)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(3)	(0.007)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	824	2.001	
期中の平均基準価額は、41,163円です。			

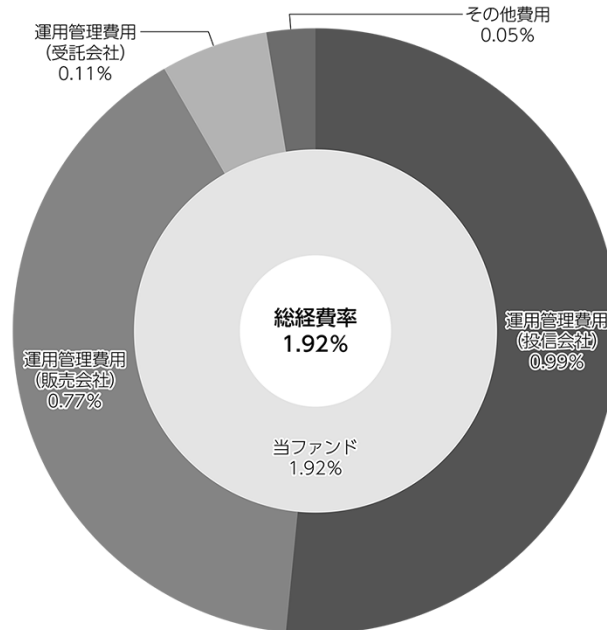
* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2025年4月11日～2026年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 55,308	千円 611,200	千口 144,922	千円 1,796,818

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2025年4月11日～2026年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	16,436,643千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	12,487,331千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.31	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年4月11日～2026年4月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Bコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 7,546	百万円 2	% 0.0	百万円 8,890	百万円 18	% 0.2

平均保有割合 87.9%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<Bコース>

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	5,199千円
うち利害関係人への支払額 (B)	4千円
(B) / (A)	0.1%

* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村証券株式会社です。

○組入資産の明細

(2026年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	921,178	831,564	10,881,109

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2026年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	10,881,109	94.0
コール・ローン等、その他	694,133	6.0
投資信託財産総額	11,575,242	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(12,334,545千円)の投資信託財産総額(12,908,725千円)に対する比率は95.6%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=159.30円、1カナダドル=115.23円、1英ポンド=213.84円、1スイスフラン=201.26円、1デンマーククローネ=24.91円、1ユーロ=186.16円、1豪ドル=112.72円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,575,242,761
コール・ローン等	109,230,894
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	10,881,109,650
未収入金	584,900,000
未収利息	2,217
(B) 負債	581,679,901
未払収益分配金	474,741,812
未払解約金	139,934
未払信託報酬	106,610,082
その他未払費用	188,073
(C) 純資産総額(A-B)	10,993,562,860
元本	2,637,454,515
次期繰越損益金	8,356,108,345
(D) 受益権総口数	2,637,454,515口
1万口当たり基準価額(C/D)	41,682円

(注) 期首元本額は2,757,983,883円、期中追加設定元本額は173,023,319円、期中一部解約元本額は293,552,687円、1口当たり純資産額は4,1682円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額89,054,305円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

(注) 分配金の計算過程(2025年4月11日～2026年4月10日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2025年4月11日～ 2026年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	132,834,189円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	830,586,102円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,268,926,990円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	3,598,502,876円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	8,830,850,157円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	33,482円
g. 分配金	474,741,812円
h. 分配金(1万口当たり)	1,800円

○損益の状況 (2025年4月11日～2026年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	629,092
受取利息	629,092
(B) 有価証券売買損益	2,239,822,687
売買益	2,402,373,660
売買損	△ 162,550,973
(C) 信託報酬等	△ 210,476,401
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,029,975,378
(E) 前期繰越損益金	2,531,947,789
(F) 追加信託差損益金	4,268,926,990
(配当等相当額)	(2,933,870,202)
(売買損益相当額)	(1,335,056,788)
(G) 計(D+E+F)	8,830,850,157
(H) 収益分配金	△ 474,741,812
次期繰越損益金(G+H)	8,356,108,345
追加信託差損益金	4,268,926,990
(配当等相当額)	(2,934,546,696)
(売買損益相当額)	(1,334,380,294)
分配準備積立金	4,087,181,355

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金 (税込み)	1,800円
------------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が2026年4月1日で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更されたことに伴い、投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に改める所要の約款変更を行ないました。

<変更適用日：2026年4月1日>

ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド

運用報告書

第22期（決算日2026年4月10日）

作成対象期間（2025年4月11日～2026年4月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行なうことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	MSCI	騰落率			
18期(2022年4月11日)	81,967	19.9%	49,068.97	19.2%	98.4%	—	百万円 14,451
19期(2023年4月10日)	81,630	△0.4	49,212.93	0.3	99.2	—	12,623
20期(2024年4月10日)	114,643	40.4	69,966.32	42.2	98.9	—	14,263
21期(2025年4月10日)	104,918	△8.5	70,010.28	0.1	96.8	—	11,128
22期(2026年4月10日)	130,851	24.7	98,910.51	41.3	98.1	—	12,250

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*参考指数（＝MSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース））は、MSCI World Indexをもとに、委託会社が独自に円換算したものです。設定時を10,000として指数化しております。
 *MSCI World Indexは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所：MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

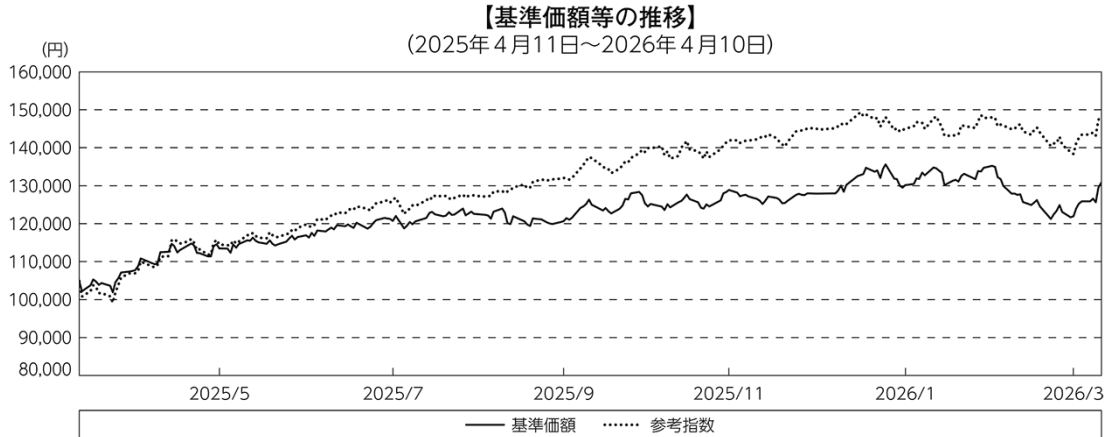
年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	MSCI	騰落率		
(期首) 2025年4月10日	104,918	—	70,010.28	—	96.8	—
4月末	107,690	2.6	71,360.96	1.9	97.3	—
5月末	113,470	8.2	76,395.62	9.1	98.3	—
6月末	116,920	11.4	79,923.17	14.2	98.3	—
7月末	120,708	15.0	84,276.42	20.4	98.5	—
8月末	122,608	16.9	85,044.76	21.5	98.8	—
9月末	120,656	15.0	88,134.96	25.9	98.7	—
10月末	125,176	19.3	93,313.01	33.3	98.6	—
11月末	128,894	22.9	94,748.94	35.3	97.8	—
12月末	127,888	21.9	96,595.44	38.0	98.5	—
2026年1月末	130,130	24.0	96,712.30	38.1	96.7	—
2月末	134,739	28.4	98,648.33	40.9	98.1	—
3月末	121,932	16.2	92,330.81	31.9	98.3	—
(期末) 2026年4月10日	130,851	24.7	98,910.51	41.3	98.1	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス (税引後配当込み、円換算ベース) です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

(上昇)

保有する水関連企業の株式の上昇
米ドルに対して円安が進んだこと

○投資環境

期中の世界株式市場は、各国の金融・財政政策の行方やインフレ、労働市場、トランプ米大統領の関税政策、中東情勢の悪化などの影響を受ける展開となりましたが、期を通じては上昇となりました。

為替市場は、米ドル円、ユーロ円ともに上昇（円安）しました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

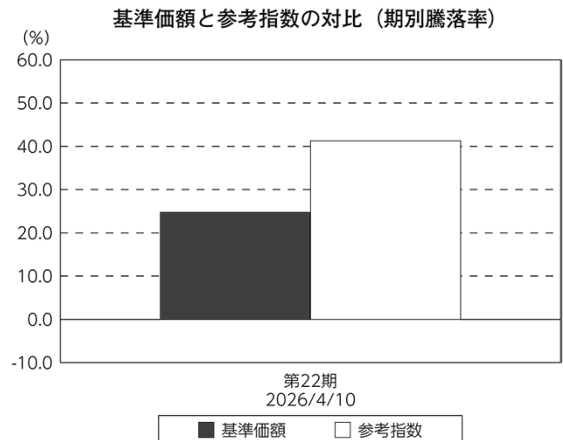
- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行なうことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリングセクター」と「上下水道ビジネスセクター」を中心に投資しました。
 - ②装置製造・エンジニアリングセクターについては、中期的な売上成長や利益率の改善が期待される銘柄などに投資を行ないました。
 - ③上下水道ビジネスセクターについては、金利環境の改善で株価の上昇余地があると考えられる銘柄などに投資を行ないました。
 - ④環境マネジメント・サービスセクターについては、利益率の改善とキャッシュ・フローの拡大が期待される銘柄などに投資を行ないました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）の41.3%の上昇に対し、基準価額24.7%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行なっており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）とは異なった動きをしています。



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

イスラエルと米国がイランに対する軍事攻撃を開始して以降、原油などのエネルギー価格が高騰する中、インフレ再燃に対する警戒感が高まっており、中東情勢を巡る今後の動向には引き続き注視が必要と考えます。世界の多くの地域で、消費者による裁量的な支出の抑制傾向がみられる一方で、中国の製造業PMI（購買担当者景気指数）は依然として低調なものの、米国や欧州では2023年の低い水準から徐々に改善が見られます。住宅建設活動は、足元では高金利を背景に抑えられたものとなっていますが、長期的には供給不足を反映して米国および欧州において需要が回復していくと考えています。

水関連の企業については、米国の財政プログラムに基づく受注が増加し始めており、これが米国に拠点を置く地方自治体のインフラ関連企業や、多角経営産業、コンサルティング企業の収益を支えると予想しています。また、廃棄物処理と上下水道関連の企業は、引き続きインフレ連動型の価格設定が高い利益率を支えると見込んでいます。装置製造・エンジニアリングの企業については、短期的には調達コストの増加や顧客の設備投資計画の見直しなどを通じて、各国の通商政策の影響が相対的に大きくなることを見込まれるため、引き続き動向を注視していきます。

水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行なう水関連銘柄のファンダメンタルズは堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

こうした環境の中、長期的な構造変化の恩恵をうける銘柄の選択に重点をおいた運用を継続します。足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは個別銘柄のミスプライス（誤った値付け）をもたらし、魅力的な投資機会を与えるものと考えます。引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用（景気回復に伴って業績の回復が期待されるセクターと景気に左右されにくく、安定した業績を維持するセクターの保有）を行なっていきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年4月11日～2026年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 57 (57)	% 0.046 (0.046)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	38 (38)	0.031 (0.031)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	62 (53) (9)	0.051 (0.043) (0.007)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	157	0.128	
期中の平均基準価額は、122,567円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年4月11日～2026年4月10日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 57	千円 317,805	千株 8	千円 50,112
	アメリカ	百株 4,167 (41)	千米ドル 35,267 (-)	百株 5,015	千米ドル 46,260
外 国	カナダ	121	千カナダドル 2,682	181	千カナダドル 3,371
	イギリス	1,537	千英ポンド 2,170	1,714	千英ポンド 2,390
	スイス	46 (-)	千スイスフラン 1,568 (△ 7)	64	千スイスフラン 1,556
	デンマーク	44	千デンマーククローネ 1,891	204	千デンマーククローネ 8,096
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	205	1,215	162	887
	イタリア	1,415	592	562	224
	フランス	617	1,956	224	698
	オランダ	16	49	160	496
	スペイン	151	356	9	18
	オーストラリア	274	千豪ドル 571	15	千豪ドル 34

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2025年4月11日～2026年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	16,436,643千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	12,487,331千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.31

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2025年4月11日～2026年4月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 7,546	百万円 2	% 0.0	百万円 8,890	百万円 18	% 0.2

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	5,904千円
うち利害関係人への支払額 (B)	4千円
(B) / (A)	0.1%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2026年4月10日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
機械 (100.0%)	千株	千株	千円
荏原製作所	—	38.1	195,224
栗田工業	21.2	32.5	263,835
合 計	株 数 ・ 金 額	21.2	70
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	2
			< 3.7% >

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	株数	株数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
API GROUP CORP	—	420	1,854	295,421	建設・土木	
AECOM	145	69	598	95,267	建設・土木	
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS INC	143	169	2,526	402,457	建設関連製品	
AGILENT TECHNOLOGIES INC	169	104	1,200	191,205	ライフサイエンス・ツール/サービス	
AMERICAN STATES WATER CO	86	—	—	—	水道	
AMERICAN WATER WORKS CO INC	249	67	944	150,508	水道	
BADGER METER INC	18	31	485	77,266	電子装置・機器・部品	
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	89	113	379	60,452	ソフトウェア	
CASELLA WASTE SYSTEMS INC-A	—	73	636	101,401	商業サービス・用品	
CLEAN HARBORS INC	70	78	2,375	378,382	商業サービス・用品	
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	1,594	1,188	3,922	624,787	水道	
CORE & MAIN INC-CLASS A	551	489	2,509	399,694	商社・流通業	
DONALDSON CO INC	—	144	1,287	205,168	機械	
ECOLAB INC	130	77	2,121	337,990	化学	
ESSENTIAL UTILITIES INC	506	285	1,170	186,512	水道	
FERGUSON ENTERPRISES INC	170	147	3,749	597,237	商社・流通業	
FORTUNE BRANDS INNOVATIONS INC	189	474	1,937	308,656	建設関連製品	
GFL ENVIRONMENTAL INC - SUB VT	613	220	980	156,174	商業サービス・用品	
IDEX CORP	48	48	966	153,898	機械	
INGERSOLL-RAND INC	136	143	1,246	198,558	機械	
MASCO CORP	188	189	1,204	191,943	建設関連製品	
MUELLER INDUSTRIES INC	—	133	1,616	257,491	機械	
PARKER HANNIFIN CORP	44	37	3,728	593,947	機械	
POOL CORP	19	—	—	—	販売	
REPUBLIC SERVICES INC-CL A	177	78	1,697	270,357	商業サービス・用品	
SMITH (A. O.) CORP	76	54	368	58,670	建設関連製品	
TETRA TECH INC	595	680	2,098	334,341	商業サービス・用品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	59	53	2,685	427,874	ライフサイエンス・ツール/サービス	
VERALTO CORP	224	159	1,429	227,709	商業サービス・用品	
WASTE CONNECTIONS INC	178	88	1,446	230,378	商業サービス・用品	
WASTE MANAGEMENT INC	118	61	1,442	229,852	商業サービス・用品	
XYLEM INC	258	216	2,802	446,507	機械	
PENTAIR PLC	342	288	2,609	415,750	機械	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,197 29	6,391 31	54,023 —	8,605,867 <70.2%>	
(カナダ)			千カナダドル			
STANTEC INC	135	97	1,185	136,562	建設・土木	
WSP GLOBAL INC	119	98	2,149	247,686	建設・土木	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	255 2	195 2	3,334 —	384,249 <3.1%>	
(イギリス)			千英ポンド			
HALMA PLC	265	296	1,209	258,553	電子装置・機器・部品	
SEVERN TRENT PLC	509	430	1,399	299,240	水道	
UNITED UTILITIES GROUP PLC	1,075	1,132	1,581	338,125	水道	
PENNON GROUP PLC	1,092	949	536	114,766	水道	
SPIRAX GROUP PLC	43	—	—	—	機械	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,986 5	2,809 4	4,726 —	1,010,686 <8.2%>	
(スイス)			千スイスフラン			
GEBERIT AG-REG	18	26	1,444	290,699	建設関連製品	

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	評価額	
(スイス)	百株	百株	外貨建金額	邦貨換算金額	
SIKA AG-REG	66	40	千スイスフラン	千円	化学
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	84 2	66 2	1,993 —	401,288 <3.3%>
(デンマーク)			千デンマーククローネ		
NOVONESIS (NOVOZYMES) B	284	124	4,757	118,514	化学
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	284 1	124 1	4,757 —	118,514 <1.0%>
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ		
GEA GROUP AG	66	198	1,238	230,517	機械
BRENNTAG SE	88	—	—	—	商社・流通業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	155 2	198 1	1,238 —	230,517 <1.9%>
(ユーロ…イタリア)					
HERA SPA	1,117	1,970	824	153,483	総合公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,117 1	1,970 1	824 —	153,483 <1.3%>
(ユーロ…フランス)					
VEOLIA ENVIRONNEMENT	422	814	2,843	529,274	総合公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	422 1	814 1	2,843 —	529,274 <4.3%>
(ユーロ…オランダ)					
AALBERTS NV	144	—	—	—	機械
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	144 1	— —	— —	— <—%>
(ユーロ…スペイン)					
FLUIDRA SA	—	142	298	55,579	機械
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	142 1	298 —	55,579 <0.5%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,838 5	3,126 4	5,204 —	968,854 <7.9%>
(オーストラリア)			千豪ドル		
ALS LTD	—	258	582	65,645	専門サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	258 1	582 —	65,645 <0.5%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	12,647 44	12,973 45	— —	11,555,106 <94.3%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2026年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 12,014,166	% 93.1
コール・ローン等、その他	894,559	6.9
投資信託財産総額	12,908,725	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建純資産（12,334,545千円）の投資信託財産総額（12,908,725千円）に対する比率は95.6%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=159.30円、1カナダドル=115.23円、1英ポンド=213.84円、1スイスフラン=201.26円、1デンマーククローネ=24.91円、1ユーロ=186.16円、1豪ドル=112.72円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年4月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,840,796,053 円
コール・ローン等	873,076,218
株式(評価額)	12,014,166,319
未収入金	936,296,945
未収配当金	17,254,295
未収利息	2,276
(B) 負債	1,589,837,963
未払金	934,937,963
未払解約金	654,900,000
(C) 純資産総額(A-B)	12,250,958,090
元本	936,251,636
次期繰越損益金	11,314,706,454
(D) 受益権総口数	936,251,636口
1万口当たり基準価額(C/D)	130,851円

(注) 期首元本額は1,060,726,434円、期中追加設定元本額は78,606,192円、期中一部解約元本額は203,080,990円、1口当たり純資産額は13.0851円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Bコース 831,564,883円
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Aコース 104,686,753円

○損益の状況 (2025年4月11日～2026年4月10日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	176,858,692 円
受取配当金	170,558,914
受取利息	5,965,312
その他収益金	334,466
(B) 有価証券売買損益	2,581,667,349
売買益	3,280,140,182
売買損	△ 698,472,833
(C) 保管費用等	△ 6,566,024
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,751,960,017
(E) 前期繰越損益金	10,068,189,678
(F) 追加信託差損益金	798,993,808
(G) 解約差損益金	△ 2,304,437,049
(H) 計(D+E+F+G)	11,314,706,454
次期繰越損益金(H)	11,314,706,454

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」が2026年4月1日で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更されたことに伴い、投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に改める必要の約款変更を行ないました。
 <変更適用日：2026年4月1日>